

23.5.31

佐倉市

教育センターだより Vol.24

平成23年5月31日発行／佐倉市教育センター／TEL. 043(486)2400 <http://www.city.sakura.lg.jp/kyoikucenter/index.htm>

一人一人の子どもたちに 「学ぶ楽しさ」「学べる喜び」を

所長 橋 口 明 夫

緑がきれいな季節になってきました。佐倉市教育センターからは、桜の花びらが風に舞い散る中、校庭の池や遊具で夢中になって遊んでいる子どもたちの姿が見られました。笑い声がこだまし、学校で生活するとの喜びが体全体からあふれていました。私たち教育に携わる者は、この子どもたちの健やかな成長をしっかりと見守っていかなければならない義務があります。

さて、小学校では今年度から新学習指導要領が完全実施になりました。子どもたちが、「生きる力」を身につけられるように、知識を教え覚えさせるだけでなく、体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れ、思考力や判断力、表現力も伸ばしていかなければなりません。教科書が厚くなり、教える教師側のより一層の工夫が求められています。これからの中等教育は以前にもまして、子どもたちの発達段階に応じた「楽しい授業」「わかる授業」が展開され、一人一人の子どもたちが、「学ぶ楽しさ」「学べる喜び」を実感できなければなりません。子どもたちが生活に活用できる知識と知恵をもち、同時に、どんな時にもへこたれない体力と気力、そして、だれにでも親切に接することができる「まごころ」をもった大人に育ってほしいと願っています。

佐倉市教育センターは今年度で9年目を迎えました。新しい新しい教育ニーズをしっかりとつかみ、教育相談活動の推進や学習状況の実施・分析を行い、これからの教育に対応できるようにしていきます。

そして、10年後、20年後も、子どもたちの笑顔があふれた学校であるように、全力を注いでいきたいと思います。今後もご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

平成23年度の主な年間計画

- 4月 教育相談開始
教育センター各委員会準備
- 5月 佐倉学道德副読本検討委員会（年2回）
佐倉市教育センターだよりVol. 24発行
- 6月 佐倉市学習状況調査作成委員会（年5回）
佐倉市教育センター連絡会議（年6回）
- 7月 佐倉市教育相談基礎講座（年4回）

- 9月 教育センターだよりVol. 25発行
 - 11月 千葉県教育研究所連盟総合研修会
 - 12月 佐倉市学習状況調査実施（中3、教諭）
 - 1月 佐倉市学習状況調査実施（小1～中2）
今年度実施の調査の分析・まとめ
佐倉市教育センター等報告会
 - 3月 佐倉市教育センター報告書発行
- ※相談事業及び情報収集は年度を通して実施。

確かな学力をはぐくむために

-「平成22年度 佐倉市学習状況調査」より-

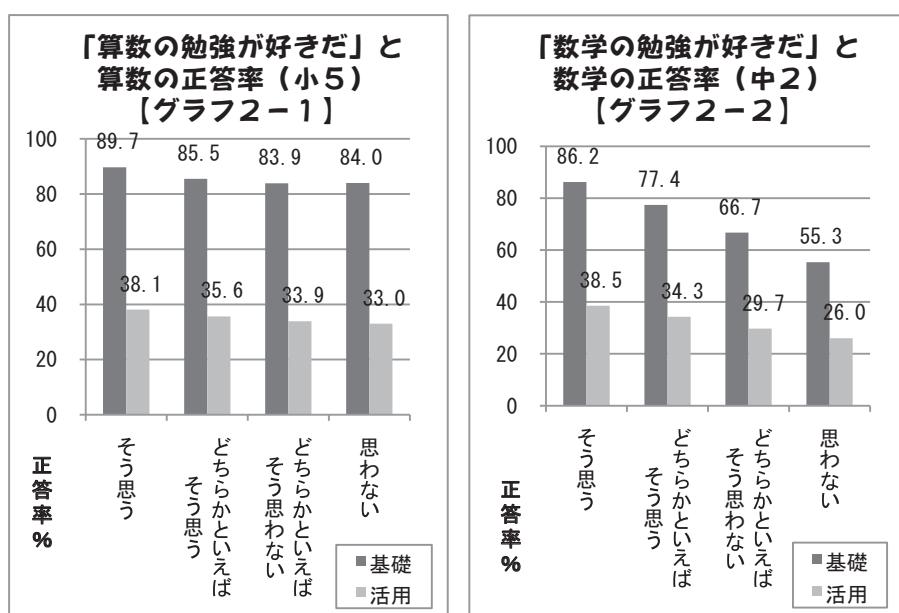
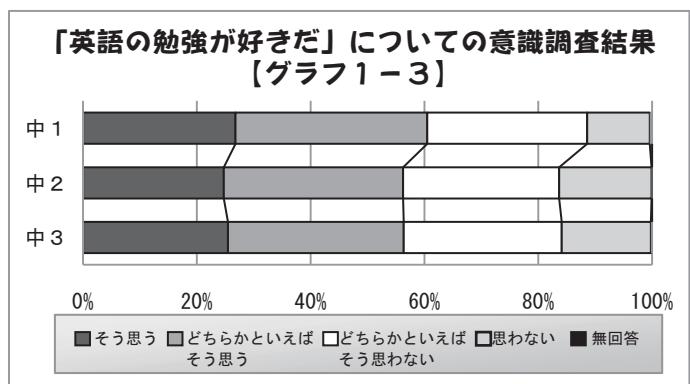
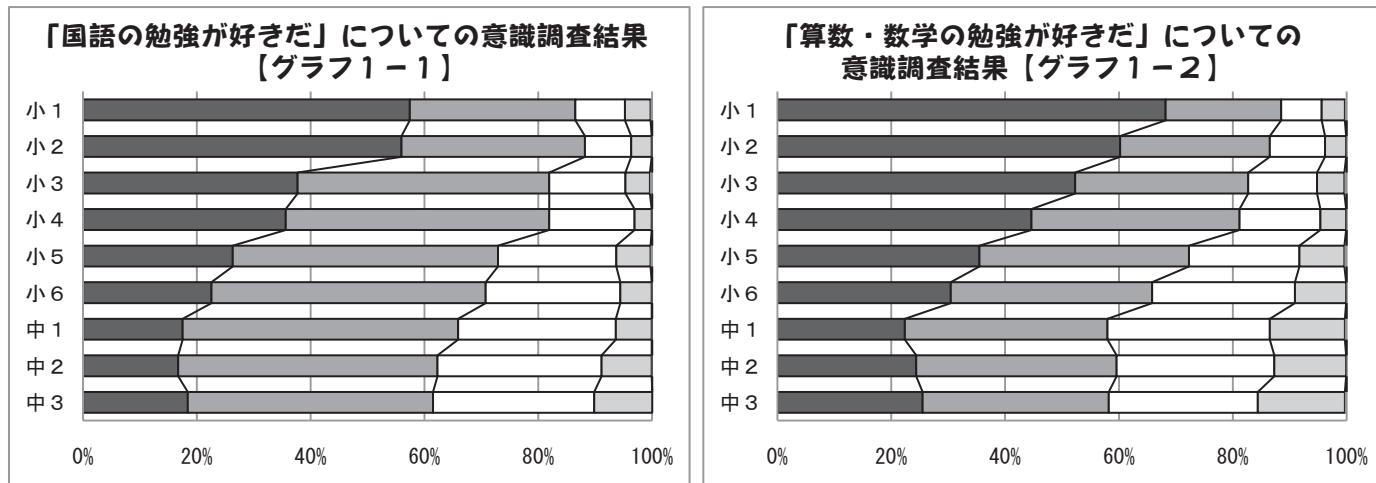
1 佐倉市学習状況調査について

佐倉市教育センターでは、平成15年度から佐倉市内の全小・中学校において、学習状況調査を全学年実施しています。

今回は、平成22年度の調査結果をもとに「確かな学力をはぐくむ」ためにはどうすればよいかを考えてみたいと思います。

2 各教科の意識について

各教科に対する意識調査を行った結果、次のような傾向が見られました。

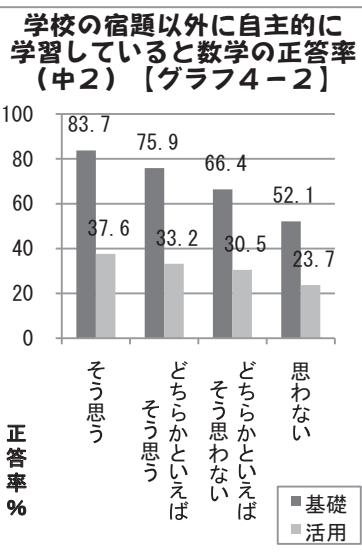
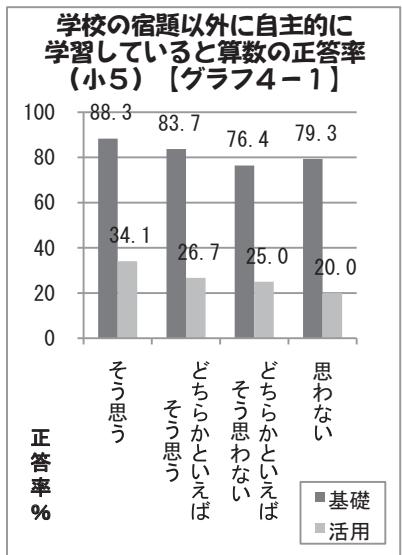
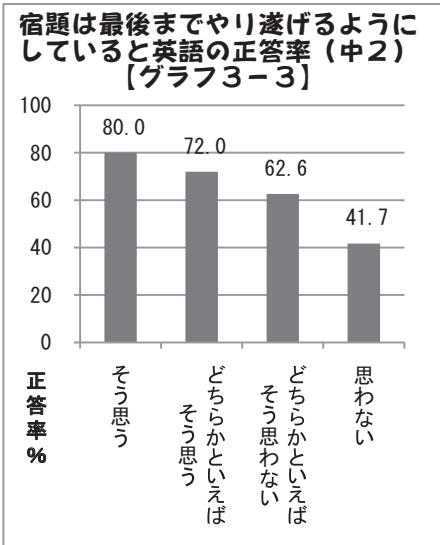
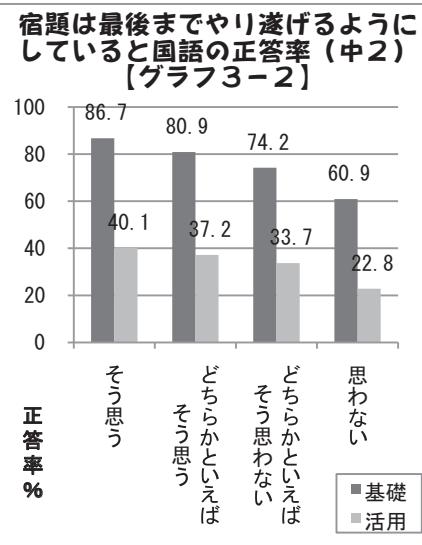
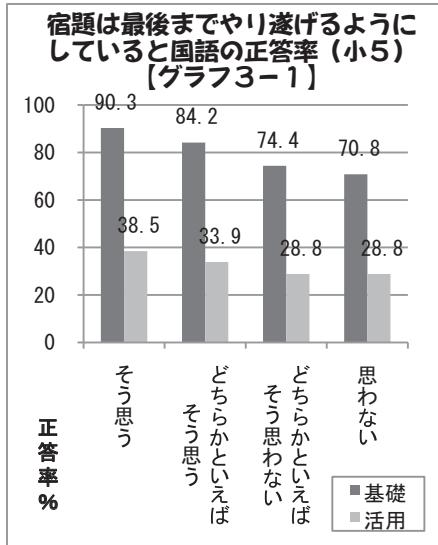


学年が上がるに従い、肯定的な回答が減少する傾向は、国語、算数・数学で見られます。(グラフ1-1, 2)さらに、学年を追って見ていくと、低学年→中学年→高学年→中学校と節目の学年において変化が大きいことがわかります。また、英語では、1～3学年において、6割前後が肯定的な回答をしています。(グラフ1-3) 視点を変えれば、1年生の段階で4割前後が「そう思わない」と回答していることになります。各教科とも、授業改善を図り、興味・関心が持てるような工夫が必要であると考えます。

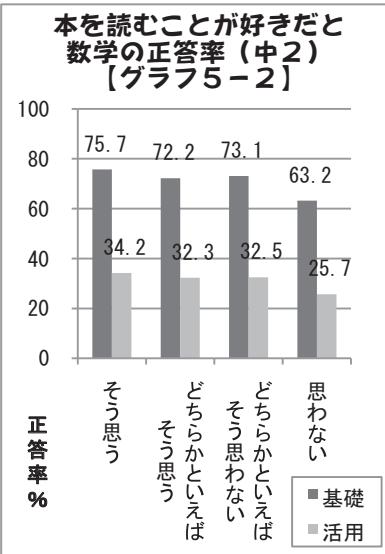
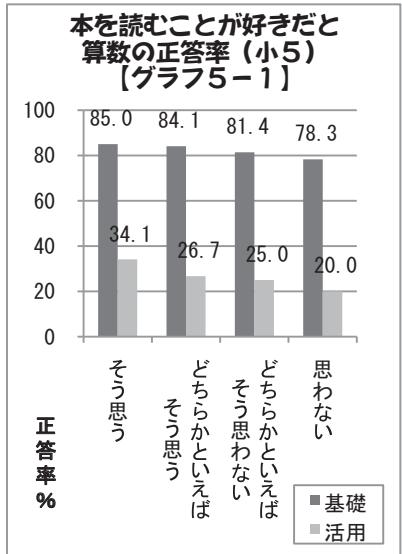
また、意識調査と正答率との関係を算数・数学(グラフ2-1, 2)で見ていくと、小学校ではあまり変化が見られません。しかし、中学校では、好き→そう思わないと意識の違いによって、変化が大きいことがわかります。このことから、授業改善はもとより、学年が上がるに従い、学習する意味や身近な実生活との関わりを提示していく等、学習に対する興味・関心を高める工夫につながっていくのではないかと考えます。

3 宿題や自主的な学習と正答率との関係について

確かな学力をはぐくむためには、学校での学習と今後は家庭での学習も大切になってきます。そこで、宿題や自主的な学習の取組と正答率との関係について考えます。



4 「確かな学力をはぐくむ」ために（まとめ）



小中学校ともに、宿題を最後までやり遂げようとしている意識が高い児童生徒の正答率は、高くなっています。また、意識が低い児童生徒の正答率との差が、20~40Pと大きく開いていることは課題といえます。さらに、自主的な学習の取組との関係を見ると、中学校では、大きくその差が開いていることがわかります。（グラフ3・4）

このことから、家庭学習として、まず宿題にきちんと取り組むことが大切になってくると思います。そのためには、宿題の内容・取り組ませ方を工夫する一方で、自主的な学習の進め方を示す（家庭学習の手引き）等の工夫が、今後大切になってくると思います。

今回の調査結果から、「確かな学力をはぐくむ」ためには、次のようなことが大切になってくると思います。

①授業の工夫・改善

- ・わかりやすい授業
- ・「わかった」「できた」等実感できる授業

②家庭学習の充実

- ・宿題への取組の徹底
- ・自主的な学習を習慣化するための工夫

③様々な取組や工夫

- ・読書活動の充実（グラフ5-1, 2）
- ・ドリル学習などの基礎基本の定着を図る工夫

このような取組の他にも、各学校の児童生徒の実態に合わせた取組が、今後大切になってくると思います。

（文責 水嶋 智巳）

平成23年度 佐倉市の教育相談活動

佐倉市教育センターでは、「適応指導教室」「教育電話相談室」「発達相談」を運営し、市内の教育相談に関するネットワークづくりに努めています。今年度の教育相談事業体制について紹介します。

適応指導教室

2教室体制をとることで、通級する児童生徒の利便性や本人の抱える状況に対し、よりきめ細かな対応を目指しています。

○開設日 月曜日～金曜日
(祝日、年末年始は除く)
午前9時～午後4時

※児童生徒の活動時間は午前10時～午後3時

〈志津教室〉

○所在地 佐倉市上志津1672番地
(佐倉市役所 志津出張所3階)

※現在、志津教室は耐震工事中のため移転中です。詳細は教育センター(486-2400)へお問い合わせください。

〈佐倉教室〉

○所在地 佐倉市栄町8番地
(佐倉市ヤングプラザ2階)

適応指導教室Q&A先生版

Q1 適応指導教室への通級を勧めたいのですが、保護者の見学はいつでもできますか？

A1 年間を通して随時受け付けています。まず教育センターにお電話ください。(学校の窓口は教頭先生にお願いしています。)

Q2 児童生徒が入級の意志を固めたようです。通級の手続きはどうしたういいですか？

A2 手続きの流れは右記をご参照ください。申請用の書類は市のインターネットからダウンロードしてください。【Lドライブ→部→教育委員会(学校)→佐倉市教育センター→適応指導教室】

Q3 公共交通機関を利用して適応指導教室に通うことになりました。「通学定期券」は使えますか？

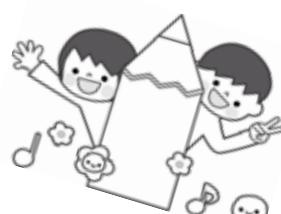
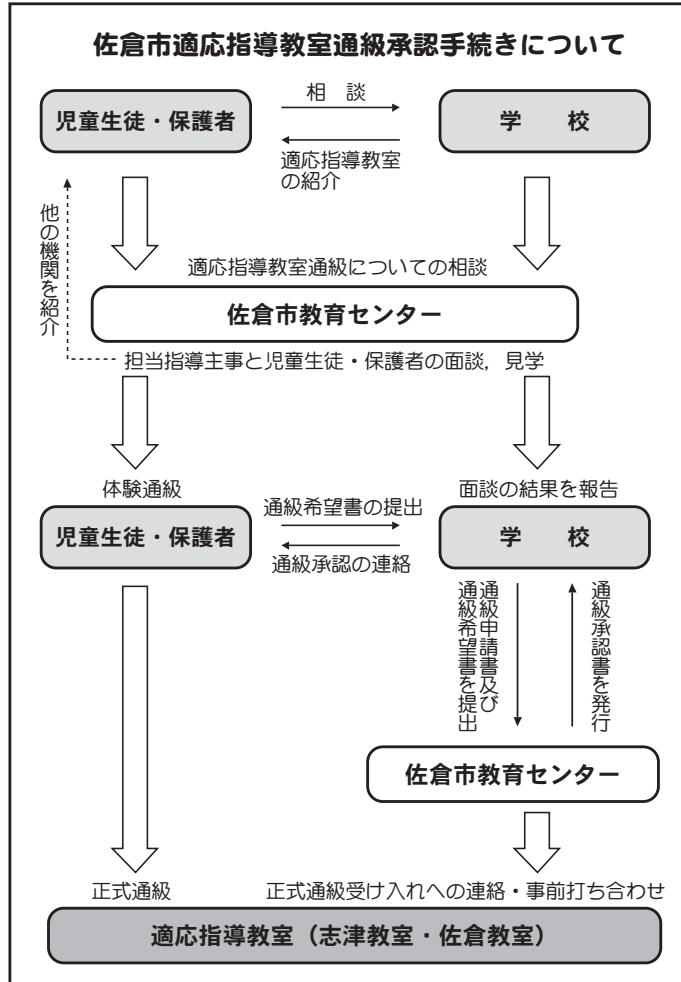
A3 使えます。交通機関への申請の書類は学校が発行することになりますので、校内での確認をお願いします。(不明な点は教育センターへお問い合わせください)

Q4 出席日数の扱いはどのようにしますか？

A4 適応指導教室に通級した日数は、指導要録上、出席扱いとなります。月ごとに通級状況報告書を学校に送付しますので、ご確認ください。

Q5 適応指導教室への通級は、年度を越えて自動的に継続になるのですか？

A5 次年度も継続して通級の希望がある場合は「継続通級申請」をお願いしています。



教育電話相談

学業や進路などの学校生活に関するご相談をはじめ、育児やしつけなどの家庭生活など幅広く市民の皆さんからの相談を受け付けています。いじめや虐待など、緊急対応が必要なケースについては、教育センターを通して関係諸機関と連携を取り合い、迅速に対応しています。

- 開設日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）
午前9時～午後4時
- 所在地 佐倉市栄町8番地（佐倉市ヤングプラザ2階）
- 電話 484-6611
- ※電話相談だけでなく、事前に予約していただいた場合は、来所相談にも対応しています。



発達相談

発達障害がある（または疑われる）ために不適応を起こしている年長児、児童・生徒について支援していくため、保護者支援を中心に来所相談及び電話対応を行っています。ことばに関する相談にも応じています。必要に応じて保護者の要望・承認のもと検査を実施することもあります。

- 相談日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
※非常勤体制のため、勤務日はセンターにご確認ください。
- 来所相談 ①10:00 ②11:00
③13:30 ④14:30
4コマ（各1時間）で対応
- 電話対応 午前10時～午後5時
(面談に入っている場合は別途対応になります)
- 所在地 佐倉市将門町7番地
(佐倉市教育センター内)
- 電話 486-2400

はじめて相談する時の流れ(発達)

①保護者からセンターへ来所予約

佐倉市教育センター 486-2400

②保護者来所による面接相談

※学校での状況等について、相談員より情報収集させていただく場合があります。

③(相談の状況によって)検査

※保護者の希望により検査の実施依頼があった場合は相談の2回目以降にて実施します。

④結果報告・今後の方向性等に関する面談
※学校への結果通知は、原則学級担任（関係職員）に別途センターへ来所していただき行います。

児童生徒への的確な支援へ

相談関係のお問い合わせは
佐倉市教育センターへお願いします

486-2400

〈平成23年度 佐倉市学校教育相談員〉

適応指導教室（志津教室） 津田みつ子先生 渡邊久子先生 中嶋雅子先生 小原利光先生
教育電話相談室・適応指導教室（佐倉教室） 田中弘枝先生 土肥嘉子先生 伊藤三男先生
発達相談（佐倉市教育センター） 滝口直美先生 濱野輝子先生 藤田英子先生

教職員研修図書及び各種学習指導案検索システムの紹介

有効活用のお願い

佐倉市教育センターでは、これまで教育関係図書、及び市内各学校の研究紀要、学習指導案等の収集・整理を進めてまいりました。現在まで、各学校にもご寄贈いただきなど、温かいご協力のおかげで、たくさんの図書及び研究実践資料を収集することができました。ありがとうございました。当センターでは、その資料を教科別・領域別に分類し、先生方の今後の研究に役立てていただけるようデータベース化を行ってまいりましたが、この度、その検索システムが完成いたしました。今後は、このシステムを有効活用していただき、各校の研究実践にお役立ていただければと思います。

【検索システム利用案内】

①検索したいデータベースを選択します。

検索したいデータベースを選択してください。
検索 1 (書名検索)
検索 2 (著者名検索)
検索 3 (書名と著者名で検索)

②キーワードを入力し、検索をクリックします。検索結果リストにジャンプし、検索結果が表示されます。

③著者名を入力し、検索をクリックします。検索結果リストにジャンプし、検索結果が表示されます。

【検索ファイルの場所】

佐倉市インターネットのLドライブ
(教育センター → 教職員研修図書)
※コピーをしてからご使用ください。

【検索方法】

説明のように検索1～3の手順で検索

検索が終了したら、FAX送付票にて、当センターまでお送りください。

貸出期間は、原則2週間とさせていただきます。実際に、見に来られての貸出も行ってあります。お気軽にお越しください。

データベースは今後も更新していきます。

編集後記

新年度が始まって2ヶ月たちました。進級、入学による環境の変化に子どもたちも慣れたころではないでしょうか。今回は「佐倉市学習状況調査」を特集しました。データから読み取れる分析をぜひご活用ください。

平成22年度末の人事異動に伴い、佐久間保男前所長に代わり、橋口明夫所長が着任いたしましたことをご報告いたします。今年度も佐倉市教育センターへのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。